社会科学習指導案

生　徒　　帯広市立大空中学校３年１組
　　男子１６名女子１６名計３０名
指導者　　板　垣　洋　和

１．単元名　　公民分野
　　第２章　わたしたちの暮らしと民主政治

単元の目標　　「日本の政治」の原則やしくみなどを理解・定着させ、そのかかえる問題を考える。

２．教材名　　第２節　暮らしとつながる政治（地方自治）

教材　　・地方自治は民主主義の学校だ・・・・・・・・・２時間
　　・地方自治を支えるためのしくみ・・・・・・・・１時間
　　・自らを治める住民のパワー・・・・・・・・・・２時間
　　・地方自治と国の政治のかかわり・・・・・・・・１時間
　　・地方財政と税のしくみ・・・・・・・・・・・・２時間
　　・地方財政の問題点を考える・・・・・・・・・・１時間（本時）

教材の目標　①「地方自治」の基本的なしくみや意義などを理解する
　　②「地方財政」の現状と税制を理解する。
　　③「地方財政」のかかえる問題を考察し、自分の意見を表明する。

３．教材観と新聞の活用

　生徒は、既習事項として「暮らしの中に生きる憲法」を学び、日本国憲法の柱の一つが「国民主権」であることを理解している。その主権者たる国民が、具体的に身近な地域の「自治」を通して、主権を行使する意義と責任を実感することを学ぶ。一方で国民の三大義務の一つが「納税の義務」であることも学習している。さらに、「税金」のしくみとその問題点も同時に学習することで、地方自治の学習内容を深化させたい。

　これまで、3年生公民分野の課題として、夏休み中に人権問題やエネルギー問題、「税の作文」などに取り組ませてきた。しかし、関心・意欲の差によってその内容の深まりには大きな違いがあった。今回の研究会にあたって、税に関する新聞記事を取り上げることで、地方財政のかかえる問題をより深く理解し、自分の意見を整理することができると考えた。

４．本時の展開

	学習内容	学習活動	教師の支援	評価の観点・方法
課題把握 5分	・本時の学習課題を確認する。	・課題を提示する ・税金のしくみはどうあるべきだと、あなたは考える？	・課題を確認する。	
考察・定着 40分	・授業前に思っていた税に対する印象を発表する。 ・新聞記事を読んでその内容を理解する。 ・論点に基づいて自分の意見を表明する。	・事前に書いた作文の発表する。 ・記事を音読し、論点を整理する。 ・論点に基づいて自分の意見を表明する。	・指名し発表を促す。 ・発言から記事の論旨を整理する。 ・税金のかかえる問題について、考えが深まるように促す。	・作文(思考) ・発表(資料活用 知識理解) ・発表(思考)
整理・発展 5分	・新聞記事を通して、自分の考えがかわったかどうか整理する。	・授業前の印象と授業後の自分の　意見がどのように変わったか発表する	・指名し発表させる。	・発表(関心) ・事後の作文 (関心、思考、資料、知識)